

第335号 2013年 8月 1日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

文部科学省「情報ひろば」にて
弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』について、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。

これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等：2013年8月1日（木）～11月末（予定）
月曜から金曜の10：00～18：00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所：旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」
（東京都千代田区霞が関3-2-2）

3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

【主な展示物】

- パネル展示
 - ・放射線の基礎知識
 - ・被ばく医療の人材育成
 - ・福島県への支援
 - ・活動成果の学術的情報発信 など
- 実物展示
 - ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介します。
 - ・放射線測定器
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で測定できます。

問い合わせ先： 弘前大学総務部広報・国際課
TEL：0172-39-3012
E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

**平成25年度「子ども震ヶ関見学デー」開催のお知らせ
(弘前大学テーマ：弘前大学と放射線について学ぼう！)**

8月7、8日に文部科学省「情報ひろば」展示室にて、平成25年度「子ども震ヶ関見学デー」が開催され、弘前大学も「弘前大学と放射線について学ぼう！」をテーマに参加します。霧箱を使って放射線を観測したり、身近なところにある放射線を測定することができます。

1. 日 時：2013年8月7日（水）、8日（木）各日10：00～16：00
2. 場 所：旧文部科学省庁舎3階 「情報ひろば」展示室
(東京都千代田区霞が関3-2-2)
3. 対 象：全国の小・中学生（原則として保護者同伴）
4. 内 容：職場見学のほか、各府省庁等ごとの特色を生かし、子どもたちを対象に広く社会を知る様々なプログラムを設け、一齐に「子ども震ヶ関見学デー」として実施します。
当日は、子どもたちの興味にあわせて震ヶ関を自由に歩くことができるよう、参加者に各府省庁等のプログラムと地図が入った「日本国震ヶ関子ども旅券」（パスポート）を配付します。
5. 参加府省庁等：内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、金融庁、消費者庁、復興庁、総務省（消防庁）、公害等調整委員会、法務省、外務省、財務省、国税庁、文部科学省（文化庁）、厚生労働省、農林水産省（林野庁、水産庁）、経済産業省、特許庁、国土交通省（観光庁、海上保安庁、海難審判所、国土地理院）、気象庁、環境省、防衛省、会計検査院、国立国会図書館

詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/event/index.htm>

問い合わせ先： 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課
民間教育事業振興室
TEL：03-5253-4111（代表）
03-6734-2092（直通）

《本学企画について》

弘前大学総務部広報・国際課

TEL：0172-39-3012

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学男女共同参画推進室「第1回さんかくカフェ」開催のお知らせ

弘前大学男女共同参画推進室は、下記の要領で第1回さんかくカフェを開催いたします。

さんかくカフェ（昨年度までは「女性研究者フォーラム」）は、女性研究者をはじめとするあらゆる弘前大学関係者が情報交換の輪を広げていくための場です。

性別や立場をこえて、世代間交流、研究活性化、キャリアモデルの提示などをすすめていきます。参加費は無料、事前の申し込みは不要です。

第1回さんかくカフェでは、昨年度の本学「研究支援員制度」利用者である、冨澤登志子先生（保健学研究科）と皆川智子先生（医学部附属病院）を話題提供者としてお迎えし、仕事と家庭・出産・育児などとの両立に「研究支援員制度」はどのような効果があったのかなどを伺いながら、

情報や意見を交換します。

多くの方々の参加をお待ちしております！

1. 日 時：2013年8月7日（水）17：30～19：00
2. 場 所：弘前大学医学研究科基礎研究棟3階
コミュニケーションスペース（中央エレベータ前）
3. 話題提供者：富澤登志子先生（保健学研究科）
皆川智子先生（医学部附属病院）
4. 話 題：大学と出産・育児
～本学「研究支援員制度」利用者から～
5. 参加費：無料
6. 対 象：すべての弘前大学関係者（学生含む）
7. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室（FDワークショップとして開催されます。）

問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室
TEL：0172-39-3888
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/

弘前大学オープンキャンパス開催のお知らせ

1. 日 時：2013年8月8日（木）10：00～15：00（9：30受付開始）
2. 場 所：弘前大学文京町キャンパス（人文学部、教育学部、理工学部、農学生命科学部）
及び 本町キャンパス（医学部医学科、医学部保健学科）
3. 内 容：【全体企画】
 - ・個人相談
 - ・キャンパスツアー
 - ・図書館体験
 - ・学食体験【学部企画】
 - ・模擬講義
 - ・体験学習
 - ・在学生との交流
 - ・なんでも相談コーナー
 - ・研究室訪問 等

問い合わせ先： 弘前大学学務部入試課
TEL：0172-39-3973、3193
FAX：0172-39-3125

平成25年度弘前大学男女共同参画推進室主催
第1回さんかくカフェ
学部を超えて立場を超えてお茶会をしましょう！！

弘前大学
男女共同
参画推進室

大学と出産・育児

～本学「研究支援員制度」利用者から～

仕事も家庭も出産も育児も...そのような方々への「研究支援員制度」は効果あり！？お茶を飲みながら「研究支援員制度」利用者の声の声を聞いてみませんか？イタメンの方、将来イクメン予定の方も大歓迎！

話題提供者 富澤 登志子先生（保健学研究科）
皆川 智子先生（医学部附属病院）

日時 2013年8月7日（水）
17時半～19時（途中での入退場も可能です）

場所 医学研究科基礎研究棟3階
コミュニケーションスペース（中央エレベータ前）

会費 無料（どなたでもお気軽にご参加ください）

対象 すべての弘前大学関係者
（学生さんも大歓迎！！）

主催：弘前大学男女共同参画推進室
TEL：39-3888
Email：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/

平成25年度 第2回油化学セミナー

「サビにくい体にする抗酸化食品の健康調節機能」開催のお知らせ

食品に含まれる様々な機能成分の中で、抗酸化物質は動脈硬化や老化などの促進物質を消去する効果があることが知られています。そこで、このような抗酸化機能をもつ食品とアンチエイジングとの関係をテーマに、食品と健康を考えるセミナーを企画しました。また、健康な生活を送るためのヒントとなる食についても講演していただきます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2013年8月23日（金）
13:00～17:00（12:30受付開始）
2. 会 場：コラボ弘大8階 八甲田ホール
（青森県弘前市文京町3）
3. 対 象：どなたでもご参加いただけます（事前申込必要）
4. プログラム（演題及び講師）：

1. 「魚油ばかりじゃないDHAとEPA
－水産リン脂質の有用性－
北海道大学大学院 水産科学研究院 高橋 是太郎 氏

近年、EPAやDHAに由来する健康性機能は、魚油型（中性脂肪型）よりも、リン脂質型の方が優れていることが明らかになりつつある。DHAやEPAに富む水産リン脂質は、共存する他の機能性成分の働きを高める働きもある。

2. 「食品に含まれる公算成分とその作用性－抗酸化作用とは？－
東北大学大学院 歯学研究科 庭野 吉己 氏

抗酸化食品の活性酸素消去機構として、生体内で産生される活性酸素の特徴と食品に含まれる代表的な抗酸化成分（ビタミンC・E、カテキン、ポリフェノール、カロテノイドなど）の作用機序を紹介する。

3. 「上杉鷹山公が奨励した植物「ウコギ」の健康食品としての魅力」
山形大学名誉教授 尾形 健明 氏

山形県米沢市には、総延長20kmに及ぶ落葉低木のヒメウコギの生垣がある。産学官連携による取組みの結果、ウコギ葉には多くの機能性成分が含まれ、種々の薬理作用を持つことが明らかになり、商品化が進められている。

4. 「次世代のトレンド「赤い果肉のリンゴ」の可能性と研究・育種の現状」
弘前大学 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター 松本 和浩 氏

弘前大学で育種した果肉まで赤いリンゴ新品種「紅の夢」などの育種・研究の現状を説明し、普及に向けてどのような取り込みをしているのか、抗酸化食品としてどのような研究シーズがあるのか紹介する。

5. 申込締切：2013年8月19日（月）
6. 申込方法：下記のメールアドレス、FAX番号まで、氏名及び連絡先を明記の上、お申し込みください。

H25年度 第2回油化学セミナー 参加費無料

サビにくい体にする抗酸化食品の健康調節機能

抗酸化機能をもつ食品とアンチエイジングとの関係、健康な生活を送るためのヒントとなる食についてわかりやすく解説します！

日時：2013年8月23日（金）13:00～17:00、受付開始は12:30から
会場：弘前大学文京町キャンパス・コラボ弘大8階 八甲田ホール
（青森県弘前市文京町3）
【交通】JR弘前駅から車20分・弘南バス15分、弘南鉄道高下駅から車5分

主催：（公社）日本油化学協会東北支部
共催：（一財）油研工業会
協賛：電子応用ワイヤレス学会、日本酸化プロセス学会、日本分析化学会東北支部、日本化学会、日本農薬学会、日本油化学協会、日本油化学会、日本油化学工業会

プログラム

1. 「魚油ばかりじゃないDHAとEPA－水産リン脂質の有用性－」
高橋 是太郎（北海道大学大学院水産科学研究院）
2. 「食品に含まれる抗酸化成分とその作用性－抗酸化作用とは？－」
庭野 吉己（東北大学大学院歯学研究科）
3. 「上杉鷹山公が奨励した植物「ウコギ」の健康食品としての魅力」
尾形 健明（山形大学名誉教授）
4. 「次世代のトレンド「赤い果肉のリンゴ」の可能性と研究・育種の現状」
松本 和浩（弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター）

申込方法：氏名と連絡先を明記の上、8月19日（月）まではE-mailまたはFaxでお申し込みください。

申込先：〒036-8564 青森県弘前市本町66-1
弘前大学大学院健康学研究科 中川 公一
E-mail: nakagawa@cc.hirosaki-u.ac.jp
Tel & Fax: 0172-30-5021

7. 参加費（テキスト代を含む）：無料
8. 主催：公益社団法人 日本油化学会関東支部
9. 共催：一般社団法人 油脂工業会館

申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 中川公一
TEL・FAX：0172-39-5921
E-mail: nakagawa@cc.hirosaki-u.ac.jp

有機フッ素化学に関する講演会開催のお知らせ（再掲）

有機フッ素化合物は私たちの身近な生活や先端科学技術の現場で広く活躍しています。しかし、その化学研究はまだまだ発展途上にあり、若い世代の研究者には大変魅力ある研究分野です。有機フッ素化学の基礎と応用のいくつかを分かり易く紹介します。

1. 日時：2013年8月1日（木）14:00～15:00
2. 会場：弘前大学大学院理工学研究科1号館2階 大会議室
3. 講演題目：有機フッ素化学入門
4. 対象：本学理工学部4年生及び大学院学生

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 澤田英夫
TEL：0172-39-3947
E-mail: hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

2013年度「化学への招待」弘前大学一日体験化学教室開催のお知らせ（再掲）

1. 日時：2013年8月6日（火）10:00～16:30
2. 会場：弘前大学理工学部及び教育学部
3. 対象：高校生（中学生・一般も可） 定員60名
4. 内容：午前 講演「感染症と闘う薬たち」（農学生命科学部）橋本 勝

午後 実験

- A) 「色で測る!!-ドリンク剤中の鉄の定量-」
(理工学研究科) 糠塚いそし
(理工学研究科) 北川文彦
- B) 「果物のおいを作る」「ルミノールを用いた発光反応」
(理工学研究科) 川上 淳
- C) 「バイオ光化学電池」「色が変わる無機高分子」
(理工学研究科) 阿部敏之
- D) 「酸素を吸う金属錯体の帰還」
(理工学研究科) 宮本 量
- E) 「ブラウン運動を見てみよう」
(教育学部) 岩井草介

F) 「オリジナルセッケンを作ろう!」、 「魅せる!?カメレオンエマルジョン」
(理工学研究科) 鷲坂将伸

5. 主 催：日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科

6. 後 援：弘前市教育委員会、青森県教育委員会、東北ポリマー懇話会、弘化会

※参加申込みは終了しました。

申し込み・問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 喜多昭一
TEL：0172-39-3567
FAX：0172-39-3541
E-mail：kita@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館企画展示

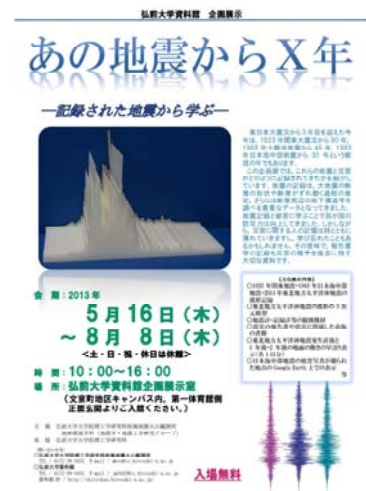
「あの地震からX年 —記録された地震から学ぶ— 開催のお知らせ (再掲)」

弘前大学資料館では「あの地震からX年 —記録された地震から学ぶ—」と題した企画展示を開催中です。東日本大震災から3年目を迎えた今年は、1923年の関東大震災から90年、1968年の十勝沖地震から45年、1983年の日本海中部地震から30年という節目の年でもあります。

1. 日 時：2013年5月16日(木)～8月8日(木)
(土・日・祝・休日は休館)
2. 開館時間：10:00～16:00
3. 会 場：弘前大学資料館 企画展示室

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 准教授 片岡 俊一
TEL：0172-39-3616
E-mail：kataoka@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館
TEL：0172-39-3432
E-mail：jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

人文学部柑本英雄ゼミブックレット編集委員会 編「弘大ブックレットNo. 10 津軽から発信！国際緊急医療援助に生きる 朝日茂樹医師のJDR活動編」(A5判、82頁、定価630円：税込)を出版しました。

2011年3月11日午後2時46分、国立国際医療研究センター国府台病院(千葉県)の朝日茂樹医師は、盛岡行き東北新幹線やまびこ63号に乗車中、被災。福島県新白河駅付近のトンネル

内で緊急停止した車内で、即座に臨時医療チームを結成し、ともに被災者となった乗客230名の救護を開始した。その後、寝食を忘れ、東日本大震災の被災地を転々としながら2週間、医療援助を提供し続ける。何が彼をここまで突き動かすのか。インドネシア地震、アルジェリア地震での国際緊急援助隊医療、WHO西太平洋事務局緊急人道活動部調整官としての経験から、医師がとるべき道筋が瞬時に見えた。「目の前の人を助けたい」という思いが、彼の原動力となる。常に、いついかなる時も「医師」であるという「覚悟」がそこにはあった。本書の編者である3人の学生の聞き書きを追体験する形で、朝日医師の語りから、人との誠実な向き合い方を学ぶことができるだろう。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
TEL：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029